

森のおくりもの9月



ヒメクグ（カヤツリグサ科）



仙台でも過去最高気温を記録するなど、暑さが印象に残る夏でした。森の植物たちの葉には様々な生き物たちの生活の痕が目立ち、無傷の葉を探すのが大変なほどになっています。8月の後半には、雨の日が多かったので、植物たちも潤ったことでしょう。秋のお花畑も見事になりつつあります。秋の実りも目につくようになってきました。その一方で自然観察センター前広場や観察路沿いのちょっと湿った所で足元に目をむけると上の写真のような1センチにも満たないかわいい実もあります。耕作地では雑草として嫌われたりもしますが、コンペイトウのような形でとてもかわいいです。【写真・文 早坂 徹】

色とりどりの実がキレイ！ ノブドウ



青、紫、緑、水色…一つの植物でこんなに色とりどりの実が見られるのは、他にあるでしょうか。子供のころ、なんてキレイなんだろうと魅せられて、学校の帰り道でたくさん採って帰った記憶があります。そんなきれいな実をつけるノブドウが観察センター前の市道で見られます。

花

■花は薄黄色で
3～5mm

■花弁とおしべ
は早く落ちる



■花盤から蜜が出ている。アリやハチやチョウなどいろんな虫がやってくる

いろいろな形の葉

葉の形は個性豊かで
いろいろです。



■切れ込みが深いものはキレハノブドウ
と言われ、区別されることもある。

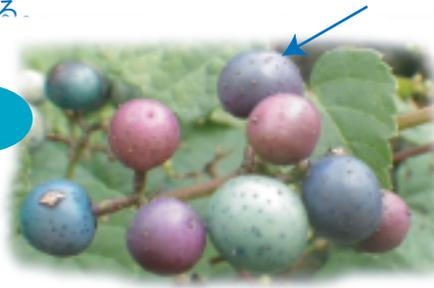
実につく虫こぶ

■白っぽくやわらかい果実は
塾したものだ。ジューシーで中
に種が1～4個入っている。

■大きく膨れた果実は、ブドウタマバエやブドウ
トガリバチの幼虫が寄生している虫こぶ。



実



■割ってみると、虫こぶ
は中がカスカスしていて
種はできていなかった

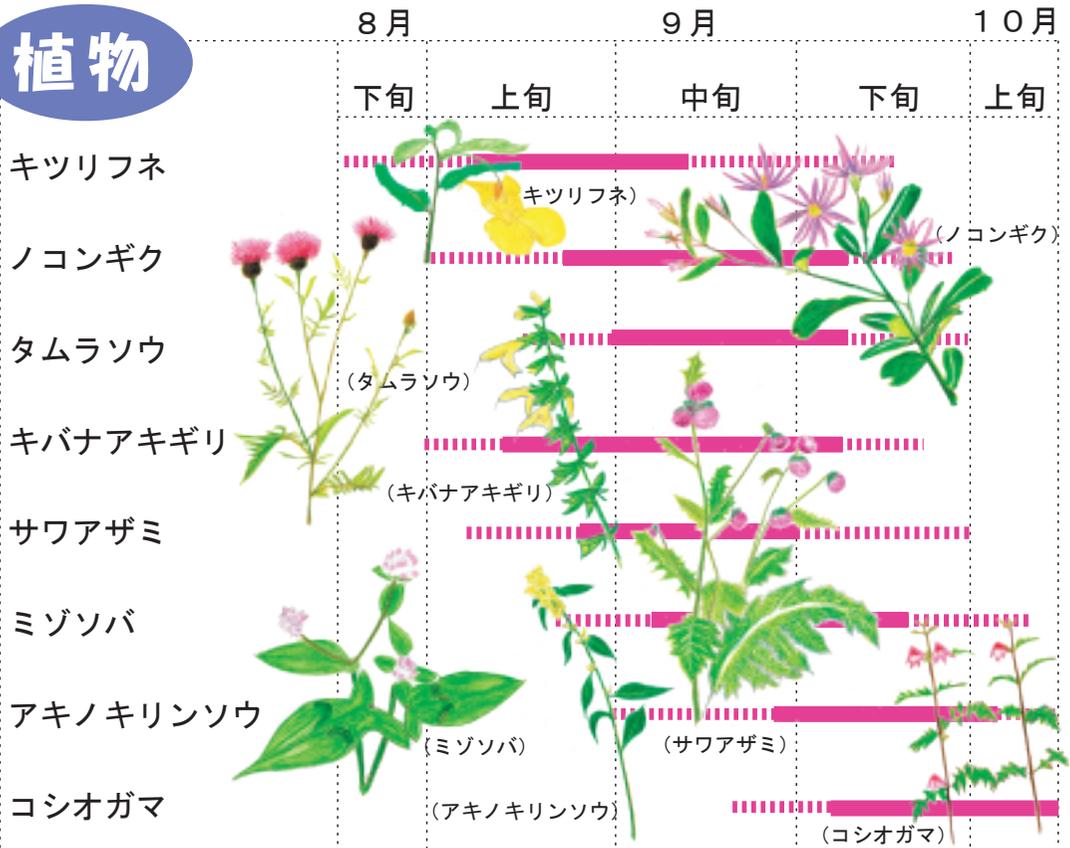
果実は、ヒヨドリやカラスなどの鳥に食べられて、散布されます。(正常な果実は、まずくなくジューシーですが、美味しくもなかった)

葉は、コスズメやブドウスズメなどの幼虫に食べられます。観察していると、ノブドウに関わるいろんな生き物が見られますよ。

【レンジャー：黒川周子】

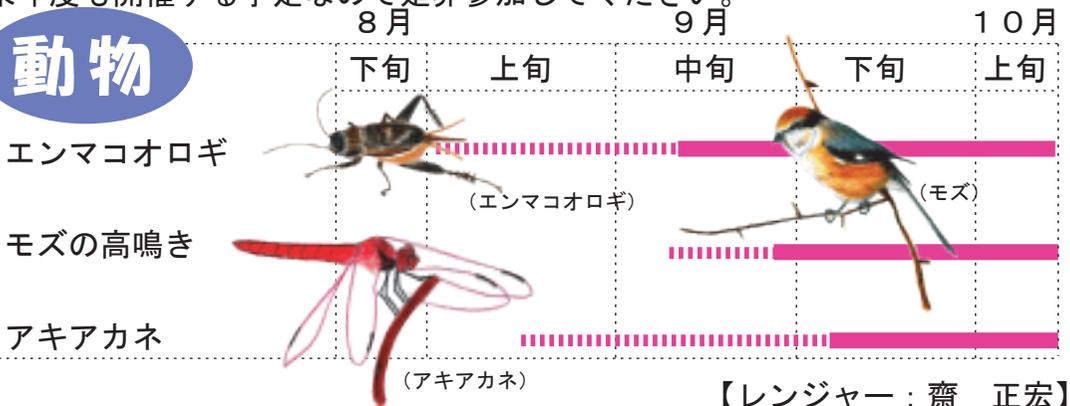
9月の生物ごよみ

植物



8月18日(土)『わくわく夜の森探検』という夜の観察会を開催しました。たくさんの参加者があり、樹液に集まる昆虫や幼虫で光るホタルなどを観察することが出来ました。夜のイベントは今まで年に1回だけ開催していましたが、人気があるため今年は6、7、8月と3回開催。それぞれ特徴のある観察会になる予定でしたが、7月は残念ながら台風の影響により中止。来年度も開催する予定なので是非参加してください。

動物



【レンジャー：齋 正宏】

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

『One for all, All for one.』

『ひとりみんなのために、みんなはひとつのこのために』

先日テレビ番組で社会性を持つアリの生態についての話を聞き、働きアリはメスでも自分の子どもは産めないが、女王アリが次世代の女王とオスを産むことを助けるので、間接的に自分に近い遺伝子が残され種の繁栄につながることを知りました。また、働きアリたちの中でサボっているように見えるアリがいるが、実はサボっているわけではなく交代要員や体力を温存しておき、突発的な出来事の際に備えているのだとか。全員が働くと疲れて活動が停止してしまうので、生き残るための戦略で休むのも役割分担しているのですね。

アリは巣全体のことを考え全員が子孫を残すために協力しています。私はこの話を聞いて、「携帯電話もないのに、全体を指揮したり連絡したりが何でできるのだろう？」と感動しました。そして「One for all, All for one」というフレーズが浮かびました。これは、ラグビーのチームワークの精神を表す「ひとはみんなのために、みんなは勝利のために」という言葉で、ひとりひとりが自分の役割を果たしてチームに貢献し、勝利のために協力するという意味です。ラグビーにだけでなく、チームワークや個々の役割の尊さを説明するのに“勝利”を“目的”や“ひとつのこと”と言い変えて使われもします。

アリは「自分さえよければいい」ではなく「巣の仲間たちのため、種の繁栄のため」に生きているから指図を受けなくとも的確に働けるのではとアリの行列を観察して感じました。最近「〇〇ファースト」という言葉をよく耳にしますが、人間はアリを見習うべきかもしれません。 【レンジャー：新田隆一】



森の「おとしもの」



その⑤ 「ケーキの樹」

今回は、鼻で見つけた「おとしもの」です。

市道からトンボの沢に向かい、策川にかかる橋を渡り約二十歩。そのあたりで深呼吸をしてみましょう。感じ方に個人差はあると思いますが、先日雨上がりの蒸し暑い日に訪ねた時は、甘い香りでむせかえるくらいでした。

香りの主の「おとしもの」は、こちら（左端の写真）です。



ガイドウォーク時の皆さんの感想は“ホットケーキのシロップの匂い？”“キャラメルみたい！”“わたがし!!”と表現はいろいろですがイメージはみんな共通、「砂糖を焦がしたような」香りです。イギリスの園芸書にも「オーブンでケーキを焼いた香り」と書いてあるとのこと。

少し専門的になりますが、この香りは「マルトール」という成分からきています。普通マルトールは糖類を熱分解した時（つまりキャラメルや焼き菓子など砂糖を熱した時）につくられますが、この葉っぱが地面に落ち枯葉になる過程で多く生成されます。つまり、どちらも「砂糖を焦がしたような香り」なのです。それにしても、何のためにこんな甘い香りがするのでしょうか？しかも強く香るのは新緑でも花でもなく、枯葉からとは。本当に不思議です。

この樹の名前は「カツラ」、恐竜と同じくらい古い時代から生き残ってきた植物です。私はここに来ると必ずその香りを拾います。「な～んて甘い匂いなんだろう、きっと葉っぱも甘い味がするはず」と考えたことはありませんか？で、思い余って食べてみたことも…。

ところで、このカツラの葉っぱ、かわいいハート型をしていて、清々しい新緑も秋の黄葉もとても素敵です。ぜひトンボの沢へ、この不思議な樹に逢いに来ませんか。

鼻のいい方なら、枯葉の季節に限らず通年香りを楽しめるかもしれません。

【レンジャー：木田秀幸】



9月のイベント & お知らせ

◆秋の虫むしめっけ♪

9月17日(月) 10:00～11:30

・虫の音を聞いたり、虫を捕まえてみたり、虫の行動を観察してみましょう。

【定員】20名(幼児～小3迄と保護者)

【持ち物】帽子、長袖・長ズボン、飲み物、虫よけ、雨具(カッパ)
※捕虫具は不要です。

【申込み】9月6日(木)午前9時から
電話で受付〔先着〕

◆秋の鳴く虫かんさつ会

9月22日(土) 18:00～19:30

・太白山に生息する鳴く虫の観察会です。

【定員】20名

【持ち物】歩きやすい服装で、懐中電灯、雨具(カッパ) ※捕虫具は不要です。

【申込み】9月7日(金)午前9時から
電話で受付〔先着〕

◆森コン～人と森にふれ合う一日

9月29日(土) 10:00～15:00

・参加者同士で交流しながら自然観察やネイチャーゲームをして、自然に親しみます。

【対象】18～49歳までの方

【定員】20名(抽選)

【持ち物】昼食、飲み物、歩きやすい服装と靴、雨具(カッパ)

【申込み】9月18日(火)〔必着〕

E-mail又は往復はがきに①住所②氏名
③年齢④電話番号⑤性別を記入。

◆館長と森を歩こう

9月30日(日) 10:00～11:30

・森の生き物について、館長が楽しく解説します(申込み不要)。

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

9月の開催日は

2日、9日、16日、23日、30日です。

開催時間: 10:00～11:30

13:30～15:00

今月のガイドウォークのテーマは

「秋の草花と虫たち」



準備してある材料を使って、誰でも自由にクラフトが作れます。
8・9月は
スライス・ウッド・クラフトです。



ヤマツツジの丘からヨシの湿地へ通じる橋が老朽化のため、しばらくの間通行止めになります。

9月の休館日

3日、10日、
18日、25日

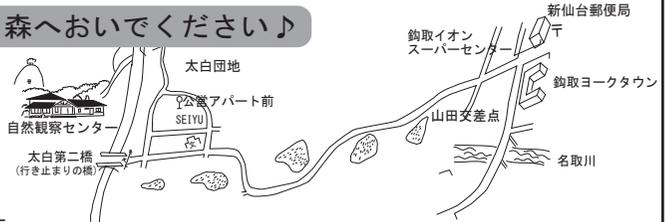
宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白団地・山田自由ヶ丘經由山田南ニュータウン行」)
いずれも 公営アパート前 下車→徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ、道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで!

2018年9月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakan_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakan/index.html>